

令和 6 年 9 月 20 日
(独)家畜改良センター
鳥取牧場 業務課

細断型ロールベアラーを用いたトウモロコシサイレージ 生産に関する実演研修会を開催しました

令和6年9月10日及び11日に鳥取県立農業大学校において細断型ロールベアラーと自走式ラッピングマシンを用いたトウモロコシサイレージ(以下「CS」。)生産に関する実演研修会を開催しました。

10日は学生18名を対象に、CS生産における様々な作業機械や収穫調製体系の紹介と、良質なCS生産を行う上での注意点等について説明を行いました。

11日は実際に作業機械を稼働させ、畜産コースを専攻する学生を対象に、刈り取ったトウモロコシを高密度なロールベールに成形する細断型ロールベアラーと、自走式ラッピングマシンの操作説明を牧場職員が行い、試乗・操作を体験してもらいました。

参加者を対象としたアンケートの結果では、満足・やや満足の評価が100%となり、良質なCS生産について、皆さん熱心に学ばれていました。

地域の畜産の担い手に細断型ロールベアラーを利用したCS生産といった良質なサイレージ生産の取組について理解を深めてもらうことで、飼料自給率向上の一助となれば幸いです。



CS の特徴や作業機械等の紹介



学生さんによる操作体験